

第3次 佐渡市地産地消推進計画取組一覧（KPI実績）

基本方針	重点目標	現状【実績値】	課題	事業主体	取組内容	R 6 目標	R2実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 実績
1 消費者ニーズに対応した農林水産物の生産振興	(1)生産者の体制整備と安定供給の推進	農業生産グループの活動強化 H30【24団体】	生産者・生産量の確保及び高品質安定生産の推進	市	・地域農業システム作りの推進 ・新規就農者等の受け皿となる里親の確保 ・生産面積拡大に要する費用（機械整備含む）の補助・新技術導入支援	・農業生産グループの活動強化30団体 ・農家戸数・栽培面積の維持	30	30	30	30
				JA・県	・生産者グループ組織の育成 ・各部会・営農指導・栽培指導強化					
		直売所の利用促進販売額 H30【322百万円】	野菜販売戦略の構築	市・生産者・消費者	・定期的に情報交換し消費者ニーズを確認する	公共施設を中心にニーズに対応した生産量の確保				
				市・JA・JF・森林組合	・量販店等での販売状況調査					
				JA・生産者	・生産計画を立て生産者へ栽培の推進を図る					
				JA・県	・出荷調整を行う					
				JA・市	・流通及び商品のマッチングを構築する					
				生産者	・水田転作野菜の利用 ・出荷時期の調整・時差生産 ・全量出荷できる規格品を生産する					
				市・JA・生産者	耕作放棄地を利用した野菜づくり					
		市場での水産物流通量 H30【4,064 t】	漁業従事者と漁獲量の確保	JF・漁業従事者	・藻場の回復と種苗放流 ・後継者・従事者の確保	漁場生産力の保全	3,836	3,162	4,055	3,339
		(2)安全安心で新鮮な農林水産物栽培の促進	GAP手法に基づいた生産履歴記帳運動の推進	農産物の安定確保や環境への配慮（GAP）	JA・県・生産者	・安全な農産物の生産方式や安全性を確認できる取組みの推進	GAP手法に基づいた生産履歴記帳運動の推進			
	生産履歴の整備			・適正な生産工程と栽培管理の実践を記録						
				・野菜・果樹の生産履歴の開示						
	土壌診断や残留農薬検査などの普及促進			・残留農薬等の検査をする						

2 生産者と消費者を結ぶ交流並びに啓発促進	(1)イベント、まつりなどを通じた交流の促進	各イベント【年1回開催】	佐渡産農林水産物の販売拡大PR等	佐渡ふれあいアッセグループ	・佐渡ふれあいアッセまつり	イベントの継続的な実施による地産地消の啓発運動の実践	・佐渡ふれあいあっせ - ・うみゃーもん祭り中止 ・地産地消フェスタ1回 ・全佐渡乾しいたけ品評会及び佐渡産乾しいたけ生産流通研修会年1回開催 ・さかなまつり中止	・佐渡ふれあいあっせ - ・うみゃーもん祭り ・地産地消フェスタ ・全佐渡乾しいたけ品評会及び佐渡産乾しいたけ生産流通研修会年1回開催 ・さかなまつり開催なし ・サクラマスの試食会1回開催	・佐渡ふれあいあっせ1回 ・うみゃーもん祭り ・地産地消フェスタ中止 ・全佐渡乾しいたけ品評会及び佐渡産乾しいたけ生産流通研修会年1回開催 ・さかなまつり中止	・農協まつり1回 ・うみゃーもん祭り ・地産地消フェスタ中止 ・全佐渡乾しいたけ品評会及び佐渡産乾しいたけ生産流通研修会年1回開催 ・さかなまつり1回開催
				JA	・うみゃーもん祭り					
				JF・漁業従事者	・さかなまつり					
				市	・地産地消フェスタ・月間（11月）					
				県・市・商工会・JA・JF・森林組合	・食材提案会					
	(2)学習会等を通じた地産地消の理解	年1回開催【年1回開催】	研修会・講演会の開催 地場産品の購入に対する市民の理解	県・市・商工会・JA・JF・森林組合	・市民を対象に地産地消理解のための講演会等を開催する	年1回開催				
				JA・消費者協会・婦人会当	・会員の合同研修会					
					・JA女性部による料理研修会					
				市	・職員の安心安全のための研修会 ・ワンコイン（500円）運動など、地場産品の購入を促す取り組みの推進					
				市民	・地場産品の優先的な購入					
	(3)佐渡産農林水産物の旬や流通に関する情報提供	ホームページのセッション数 H30【4,639】	佐渡産農林水産物の情報提供	生産者・JA・市・JF	・ホームページ・フェイスブックでの情報発信	ホームページのセッション数月間5,000以上 フェイスブックを活用した情報発信				
			旬のメニューの普及促進	生産者・JA・市・JF	・ホームページ・フェイスブックでの情報発信					
	(4)地産地消の取組み当の情報提供	市：地産地消HP フェイスブックの運用	生産者情報の提供	JA・市	・ホームページ・フェイスブックでの情報発信					
			加工品・特産物情報の提供	市・商工会・JA・JF・森林組合・直売所	・ホームページ等での情報発信					
	(5)地産地消のための啓発活動	地産地消認知度 H30【93%】 （県民アンケート調査）	市民全体を巻き込んだ地産地消の推進	市内協力店・JA・JF・森林組合・商工会	・地産地消推進月間（11月）に集中的なイベントを実施 ・年間を通じた啓発イベント企画・実施	地産地消認知度100%	93%			
	(6)食品ロス削減のための啓発活動	30・10運動	食品ロス削減への理解	消費者協会・市民	・会員の合同研修会 ・30・10運動の継続	食品ロス削減への理解				

3 店舗・直売所等 における佐渡産農林 水産物及び加工品の 利用促進	(1)店舗・直売所での 佐渡産農林水産物及 び加工品の提供強化	【参考】 佐渡中央青果市場島 内野菜販売（流通） 額 H30【32百万円】	販売量・額の拡大販 売スペースの拡大	スーパー・小売店・ JA・市場	・市場における佐渡産農林水産物の優先的な仕入れ	佐渡中央青果市場島内産 野菜販売（流通）額50百 万円				
		直売所数 H30【26店舗】								
		直売所販売額 H 30【322百万円】		直売所・生産者	・直売所と生産者が協働した計画的な栽培・出荷・仕入れ・販売	直売所販売額350百万円				
	(2)ホテル・飲食店等 における佐渡産農林 水産物及び加工品の 利用	佐渡産品提供点（地 産地消推奨店） 令和元年12月現在島 内 【38店舗・うちホテ ル14】	佐渡産食材の優先使 用	ホテル・飲食店・商工 会・観光協会	・佐渡産食材を使った伝統料理の提供 （伝統料理レシピの活用）	地産地消推奨店舗50店舗 （うちホテル・宿泊施設 20）	40店舗、うちホテル14	41店舗、うちホテル15	44店舗、うちホテル16	46店舗、うちホテル16
佐渡産品の販売コー ナーの設置			ホテル・飲食店	・佐渡産品のコーナーを新設・拡大する						
ホテルにおける佐渡 産鮮魚等流通促進			市・ホテル・加工業者	・佐渡産魚の活用						
4 学校・福祉施設 等における佐渡産農 林水産物の利用促進	(1)佐渡産農林水産物 の受け入れ態勢整備	学校給食での 佐渡産野菜使用率 H30【22.2％】 佐渡産水産物使用率 H30【2537％】	安定供給に向けた市 内部の連携強化	市（栄養士・地産地消 担当係）	・学校・保育園・福祉施設の栄養士、地産地消担当係が連携を強化 し、情報共有を図る	学校給食での佐渡産野菜 使用率30％ 佐渡産水産物使用率30％ 保育園給食での佐渡産野 菜使用率30％ 佐渡産水産物使用率30％	野菜：10.8％ 水産：37.1％	野菜：12.4％ 水産：28.0％	野菜：12.4％ 水産：29.2％	野菜：10.6％ 水産：22.1％
			受け入れ体制の整備	市	・栄養士・調理師の研修					
				市・JA・市場・JF（漁 協）・森林組合	・食材の流通体制確立					
	(2)佐渡産農林水産物 の安定供給の確立		情報交換会の開催	県・市・商工会・JA・ JF・森林組合	・計画栽培に取り組む生産グループの立上げ					
			佐渡産農林水産物の 安定供給	県・市・JA・市場	・市場流通体制の確立					
				市・JA	・学校・保育園休力への佐渡産米の提供					
				JF（漁協）・加工業者	・佐渡産水産物、加工品の共有					
				森林組合・JA	・林産物共有					

56次産業化・農 商工連携等による地 場産業の推進	(1)佐渡産農林水産物 を活用した加工品 （特産物）の肺活利 用促進	商品開発数 H31【3商品】	各機関での開発・実 践	JA・商工会・JF・森林 組合・建設業等	・農林水産加工品の開発	農林水産物の商品開発数 年10商品				・カキの加工品開発2商 品
				市・生産者・観光協会	・ご当地メニューの開発					
				JA・商工会・包括提携 大学	・各機関と連携した商品開発					
	(2)農商工支援体制の 強化	地産地消推進会議等 の場において情報共 有を行っている	農商工連携支援体制 の強化	県・市・商工会・JA・ JF（漁協・森林組合	・関係機関が情報を共有し商品開発の支援を検討し、周知・広報運 動等において販売の支援を行う	関係機関の連携	-	-	-	・島内事業者向けに食品表 示についての研修を実施
	(3)啓発イベントの実 施と販売促進	地産地消フェスタ開 催数 【年1回】（年1回）	啓発イベントの開催	市・生産者	・地産地消フェスタ	地産地消フェスタ開催数 年1回	1回	中止	中止	中止
		サドメシランサミッ ト開催 H30【佐渡2回】 新商品開発発表会・ 商談会 H30【1回】	商品PRと販売促進		・佐渡メシランサミット ・新商品開発発表会・商談会当	サドメシランサミット、 新商品開発発表会等随時 開催	・佐渡メシランサミッ ト 1回	-	-	・佐渡メシランサミッ ト 1回

6 食育の推進と伝統料理の継承	(1)食育を通じた地産地消の推進		食育への理解	市民・家庭	・旬（栄養価の高い季節）を知る	地域に根差した食生活・風土・文化の継承	・旬の食材を給食で使っている。	・旬の食材を給食で使っている。	・旬の食材を給食で使っている。 ・健康フェスティバルじょうぶらにて地産地消クッキング開催、地場産物を使った健康長寿弁当販売（栄養士会）	・旬の食材を給食で使っている。 ・健康フェスティバルじょうぶらにて地産地消クッキング開催、地場産物を使った健康長寿弁当販売（栄養士会）
				生産者・市等	・旬（栄養価の高い季節）のお知らせ					
	(2)佐渡産品を使った伝統料理の継承	伝統料理教室の開催 H30【35回】 料理教室の開催 H30【39回】	料理教室（伝統料理教室）の開催 伝統料理レシピの提示	公民会・学校・保育園当 健康推進協議会・農村地域生活アドバイザー 市	・佐渡の食材を使った料理教室 ・推進員が市民に伝統料理を講習する ・伝統料理レシピをホームページ等で照会する	伝統料理教室の開催	・郷土料理の調理実習 小学校2回 中学校2回 高校3回、 健推2回 計9回 （おにまん、おこし型、すりみ汁など） ・さど食育人材バンクの利用（健推講師） 1回	・郷土料理の調理実習 小学校2回 中学校2回 高校3回 佐渡保育専門学校1回 健推1回 計9回 （おにまん、おこし型、やせうま、太巻きなど） ・さど食育人材バンクの利用（健推講師） 4回	・郷土料理の調理実習 小学校1回 中学校2回 高校1回 健推5回 計9回 （おにまん、おこし型、かやだんご、巻きずし、押し寿司など） ・さど食育人材バンクの利用（健推講師） 6回	・郷土料理の調理実習 小学校2回 中学校2回 高校1回 その他4回 健推3回 計12回 （おこし型、いごねり、あらめ煮、かやだんご、八杯汁など） ・さど食育人材バンクの利用（健推講師） 9回
	(3)「食」と「農」への理解のための農業体験の推進	農業体験等実施校・園数65箇所 小中学校36校 幼稚園3園 保育園26園	農業と食に関する体験学習	生産者・JA・市・県・JF・森林組合・	・農業体験を通して生産者の苦労や喜びを理解する	市内すべての小中学校・幼稚園・保育園（私立含む）において農業体験等を実施するよう働きかける	・県振興局主催のお魚料理教室8回 ・園での畑づくりは全園で実施 ・農業体験実施校 小20校 中3校	・県振興局主催のお魚料理教室12回 ・園での畑づくりは全園で実施 ・農業体験実施校 小20校 中3校	・両津吉井小学校における教育活動（講話・駒打ち体験） 年1回開催 ・県振興局主催のお魚料理教室9回 ・園での畑づくりは全園で実施 農業体験実施校 小20校 中3校	・両津吉井小学校における教育活動（講話・駒打ち体験） 年1回開催 ・県振興局主催のお魚料理教室11回 ・園での畑づくりは全園で実施 農業体験実施校 小20校 中3校
				小中学校・保育園	・自分の作ったものの美味しさを体感する					
				生産者・小中学校・保育園	・生産者と地域の子どもたちの交流					
				消費者協会	・環境にやさしい野菜作りの推進					
				市・学校・生産者	・親子体験教室の開催（例：漬物体験教室等）					

7 地産外消の推進	(1)地産外消の推進	佐渡産品提供店（サドメシラン認定店）の登録、PR H30【116店舗】	島外販路拡大流通コストの削減	市・チーム佐渡島・JA・商工会・各参加企業	・サドメシランサミットの開催	年1回開催	年1回開催	-	-	年1回開催
					・佐渡産品の情報発信 ・島外フェスタの実施	佐渡産品提供店（サドメシラン認定店）120店舗	114	122	119	125
				市・JA・商工会・各参加企業	・佐渡産品の需要の調査					
				生産者	・商品カルテの作成					
		GIAHSマーク利用申請数（産品のみ） H31【25件】		生産者・企業・市	・GIAHSマークの利用促進 ・世界農業遺産の周知	GIAHSマーク利用申請数（産品）50件	18	20	7	10
		地域社会維持推進協議会会員【29】		市	・海上輸送コストの支援（地域社会維持推進交付金）	農林産業の発展	30	31	33	35